

繁華街で無線LAN可能に

「LUS協議会」が装置設置へ

神戸市内の商業地域などに無線LANのルーターを多数設置し、自由なインターネット環境をつくらせようという動きが進んでいる。民間非営利団体(NPO)のデジタルサ

ーカス(神戸市中央区)、ITベンチャーのムーブ(同)などが中心になり、NTT西日本などを巻き込んでLUS協議会を結成、普及を急いでいる。

LUSとは、ランドマーク・ユビキタス・サービスの略称。インテル社とルーターメーカーのパ

ネットを利用できる。店舗にとっては集客力の拡大につながり、LUSのホームページでPRできるメリットがある。

また、ムーブは「自社のネットワークの利用促進や、インターネット販売時点情報管理(POS)など新たな事業展開が可能になる」(市成修社長)など、将来の布石が打てる。IPカメラと接続することで、防災用途にも使える。

ファロー社のリースポット事業の一環として両社から400台のルーターを供給され、協議会が普及促進している。仕組みは簡単で、店舗などのインターネット回線に専用のルーターを設置するだけ。無線LAN機能を備えたパソコンさえあれば無料で自由にインター

現在、設置店舗は元町地区、北野地区など50店舗にとどまっている。同事業は震災復興事業なので期限は今年3月末まで。「店舗だけでは限界がある」(同)と専門学校や商業ビル、公共施設などへも展開する方針だ。